

歩行者と自転車のまちづくりニュース

歩行者と自転車を優先するまちづくりに向けて

第 9 号



発行：歩行者と自転車を優先するまちワークショップ

事務局：逗子市 環境都市部 環境管理課

クルマ中心から公共交通、
自転車、徒歩で・・・という
生活に転換してみましょう。

逗子のカーフリーデーはどんなことをするの？



ゆずりあい逗子

逗子市は歩行者と自転車と環境にやさしいまちをめざします

逗子市

「ゆずりあい 逗子」のポスター

逗子市では、平成 21 年から共にワークショップに取り組む歩行者と自転車のまちを考える会が、市民団体の活動としてカーフリーデーを行ってきました。（6回開催。市は後援、協力）

今年度の逗子のカーフリーデーは、逗子市が主催となり、「歩行空間の充実」（自転車、公共交通、マイカーとのゆずりあい）をめざし、取り組んでいきます。

限られた道路空間の中では、歩行者・自転車・自動車が共存していくために、それぞれが、思いやりを持ち、安全で安心して通行できる空間を創出していくことが大切です。

限られた道路空間の中で、快適な交通空間を創出していくことをねらいとしてカーフリーデーでは次のような取り組みます。

・ 駅周辺の駐車場マップを配布し、駐車場の案内をすることで、道路上の駐停車車両を減らし、交通空間の確保をめざします。

・ JR 逗子駅前広場にて、車に頼りすぎない仕組みづくりの検討のきっかけとなるべく、パネルによる展示やアンケートを実施します。

・ 市庁舎来庁者用駐輪場を開放し、路上駐輪車両を減らし、歩行空間の確保をめざします。

*ぜひ、みなさんも、この機会に車の利用方法や逗子の交通について一緒に考えてみませんか？



JR 逗子駅周辺地区を対象範囲として「歩行空間の充実」をめざします。

9月22日（木・祝）はカーフリーデー



車は、おうちで
お留守番♪

今日は、車を置いて
まちへ出かけよう！



逗子カーフリーデー実施（小雨決行、荒天中止）

日時：9月22日（木・祝）午前10時から午後4時まで

場所：JR 逗子駅前広場

内容：JR 逗子駅周辺交通をテーマとしたアンケートやパネル展示

主催：逗子市

協力：歩行者と自転車を優先するまちワークショップ

問合せ先：逗子市 環境管理課 046-873-1111（代表） 内線 457

カーフリーデーってなに？



車をおいて街へ出よう！のロゴ
カーフリーデージャパンHPより

1997年にフランス、ラ・ロッシュェルで行われた「車のない日」が発端となっている、車と都市・車と地球環境・車と都市文化を考える1日です。

日本では、2004年に横浜市・松本市・名古屋市が参加して以来、その目的や趣旨に賛同する団体が参加しています。（平成27年：10団体）

持続可能な都市交通政策の展開に向けて、日本で深刻化する中心市街地への対応策としても、車と地球環境・都市生活のあり方を考えていきます。



海外の活動の様子
ヨーロッパモビリティウィークHPより

毎年カーフリーデーではテーマが定められており、2016年のテーマは

— **Smart mobility. Strong economy.**（賢い移動。強い経済。） —

「賢い持続可能な移動：未来への投資」です。

カーフリーデーのねらい

カーフリーデーでは、普段、車で移動をしているところを、この日だけは車を休ませ、異なる交通手段を用いることでカーフリー「車から解放される」「車に縛られない」ことを実感するものです。

カーフリーデーの目的

- * 大気汚染の問題を認識する
- * 公共交通を推進し強化する
- * 人や自転車の空間を優先する
- * 地域の資産を再認識する



さいたまカーフリーデーの様子
逗子市撮影

車利用を必要とする方を除き、車の利用を少しでも減らすことや、公共交通を利用することで、車から排出される大気汚染物質を減らし、交通渋滞などの問題を意識するきっかけとします。

また、徒歩や自転車を利用することで、限られた交通空間で歩行者や自転車が優先されることの必要性を体感し、普段、車を利用しているときは見落としてしまう、地域の魅力を再発見する機会につなげようという目的があります。